

# 5年 道徳学習指導案

5年1組 34名 指導者 橋本千恵

## 1 総合主題名 輝いて生きる

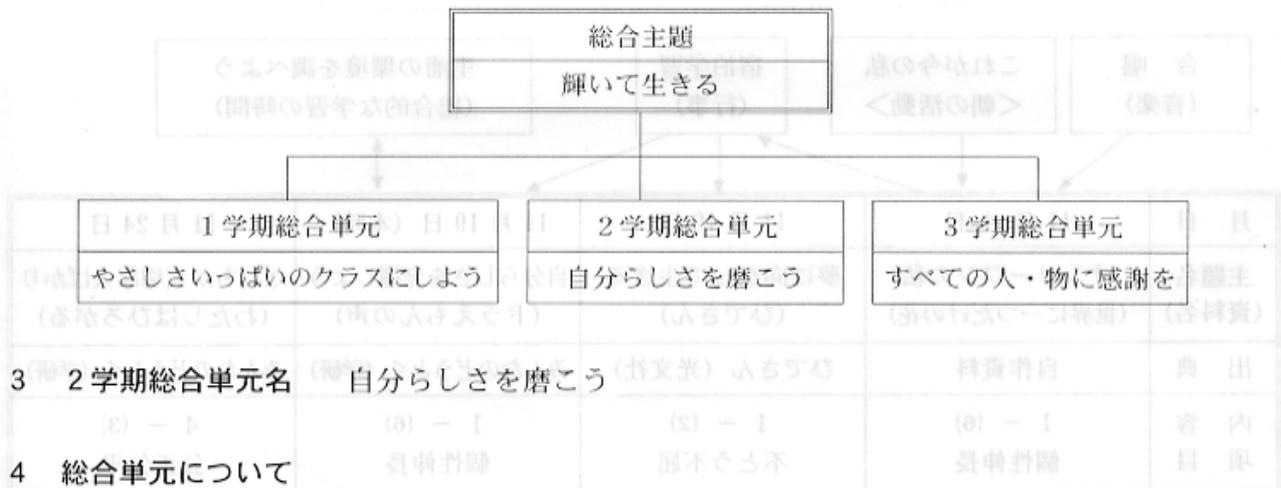
## 2 総合主題について

本学級の児童は、明るく活発で男女の仲が良く、たいへん素直で聞き分けがよいのが特徴である。高学年としての自覚をもち、朝のあいさつ運動や清掃など、責任を果たそうとする意欲も十分である。

しかし、5年間クラス替えがなかったことで、友達や自分に対する見方が保守的・固定的になりがちな面がある。自分や友達を先入観で決めつけたり、失言や失敗に対して敏感に反応しすぎたり、新しいことに挑戦しようとする友達の素直に応援できなかつたり、苦手なことをつい友達に任せて自分は後に引いたりすることも何度かあった。

そこで、「すべての人が輝きをもっている大切な存在であり、その中で、私たちはともに支え合って生きている。一人一人が自分のよさと人のよさを受け入れ合い、磨き合うことによってそのよさがさらに輝く。」ということを感じ取らせたいと思い、総合主題「輝いて生きる」を設定した。この学習を通して、自分自身を最も輝かせいきいきと生きるとともに、友と心を通わせ、認め合い、支え合うことの楽しさや喜びを実感できる児童の姿を見たいと強く願う。

総合主題「輝いて生きる」の単元構成は次の図のとおりである。



### (1) 単元設定の理由

1学期の総合単元「やさしさいっぱいクラスにしよう」では、仲の良い子や気の合う子だけでなく相手が誰であっても、相手の立場に立った言動を心がけることの大切さを学び合った。本当のやさしさは、相手も自分も生かすものであるということに気が付き、学習後も、教室前面に掲示した「単元のまとめ」を見ながら生活を振り返ることも何度かあった。

2学期は、この5年1組の一人一人の個性が、もっと磨かれ光り合い認め合えることを願って、総合単元「自分らしさを磨こう」を設定した。児童の友達に対する言動は少しずつ変わり始めている。

しかし、自分や友達を固定的に見てしまう傾向は、ほとんど変わっていない。全体としては、学習意欲も運動能力も高くはつらつとした雰囲気があり、リーダー的な児童を中心に一見仲が良く見える。し

かし、つい友達と自分を比べて自分を卑屈に見てしまったり、自分に自信がもてなくて友達を傷つけることを言ってしまったりする児童の存在が気にかかる。自分自身のもつよさを初めから否定して、よさを見付けようとしめない者もいるのである。

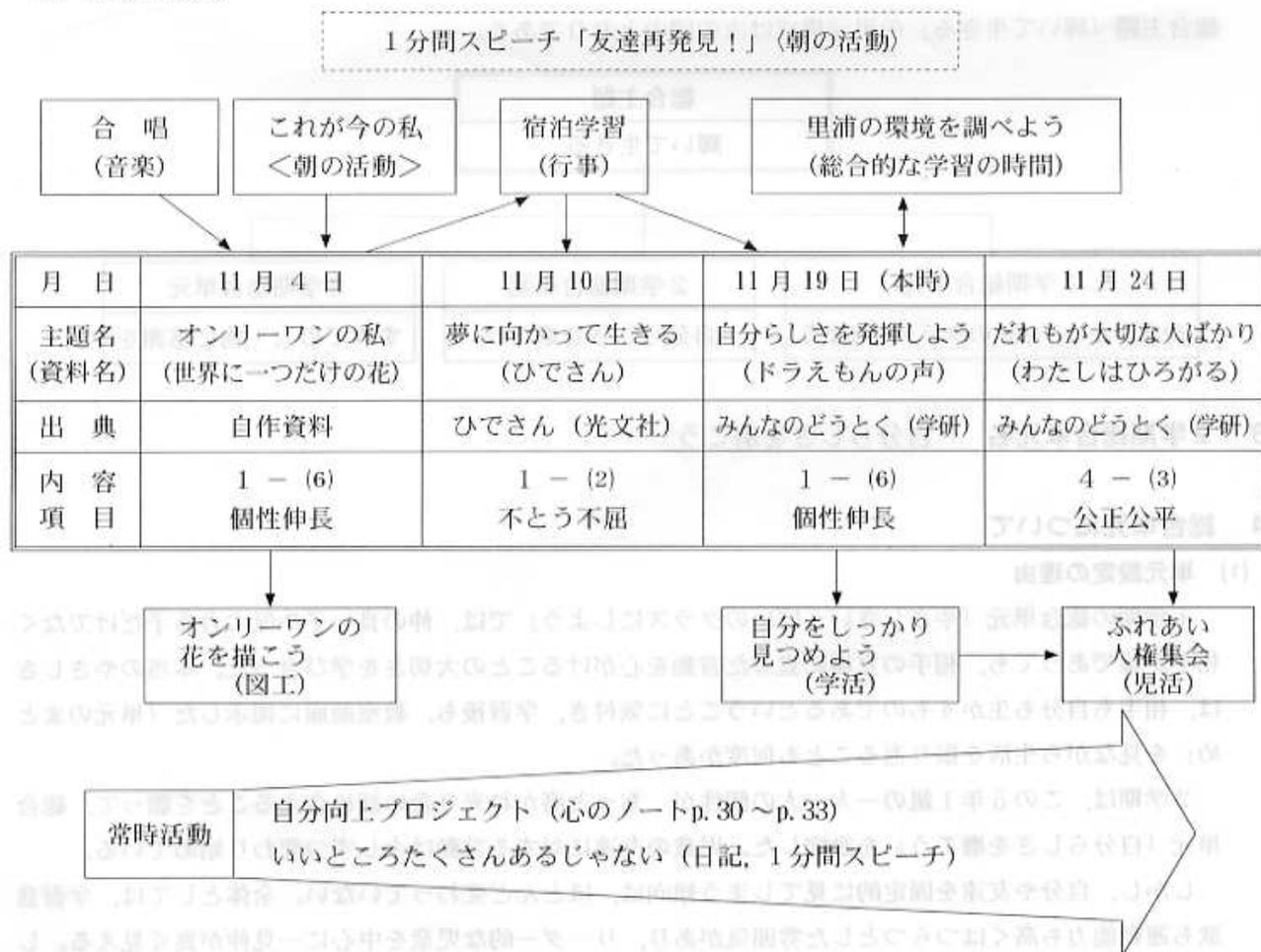
そこで、自分の特徴を個性として前向きに受け止め、欠点や弱さを克服してよさを伸ばしていきけるように、様々な体験や体験活動を生かしながら、道徳の時間を中心に単元を構成していきたい。

まず、児童の好きなヒット曲である「世界に一つだけの花」を資料化した「オンリーワンの私」の学習では、それぞれ長所や短所はあるけれど、一人一人みんなが特別な個性をもつ存在であるということに気付かせたい。昨年の6年生を送る会でクラス全員で演奏した大好きな曲であり、資料にとけ込みやすいと思う。

「ひでさん」は、メジャーリーガーの松井秀喜選手を取り上げた資料である。子ども時代の意外性のあるエピソードを取り上げることで、児童が自分もやればできる可能性があるという意欲がわくような展開を考えている。

「ドラえもんの声」では、欠点と思っていたことまでが前向きな考え方や努力によって長所へと変えられる追体験をさせ、自分らしいよさを受け入れ、それを大切にして伸ばしていこうとする意欲をもたせたい。この時期、自然の家での宿泊学習があるので、一人一人の児童が個性を出し合って伸び伸びと表現できるように担任として支援していきたいと思う。そして、「わたしはひろがる」で、自分も人も大切な存在として認め合い磨き合っていくことによって、自分のよさがさらに輝くということに分かせ、人権集会へとつないでいきたい。

## (2) 単元の構想



## 5 本時の学習

関 題 (A)

(1) 主 題 名 自分らしさを発揮しよう

(2) 主題設定の理由

<ねらいとする価値について>

1 - (6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。

個性とは、「個人に備わり、他の人とは違う、その個人にしかない性格・性質」(広辞苑)である。本時は、特に、個性を「よさ」ととらえ、それを「積極的に伸ばす」ことに焦点をおきたい。人にはそれぞれによさがありながら、気付かずにいることが多いので、それに気付かせ自覚させ、さらにそれを伸ばそうとする意欲を高める必要がある。それぞれが自分のよさを生かして自分らしさを発揮し、調和のとれた自己を形成していくことが望まれる。

<子どもの実態について>

児童は、ある程度自分自身を知っており、長所や短所も親や友達からの指摘などで分かってはいるが、自分自身の中では長所についての認識はまだ薄く、どちらかといえば、短所の方が気になり、自分に自信のない者が多い。

そこで、自分らしいよさに気付き伸ばす大切さを分からせ、自分を肯定的に受け止めることによって自分に自信をもたせていきたい。

<資料について> 資料名 「ドラえもんの声」 みんなのどうとく (学研)

本資料は、子どもたちに人気のある「ドラえもん」の声を担当している大山のぶ代さんの自叙伝をもとに書かれた。自分の特徴であるドラえもんを短所としてあきらめるのではなく、長所へと見事に転化させていく過程が描かれている。

母親のアドバイスを受け入れる素直さ、他人をねたんだりしない明るさ、ひきめを乗り越えるために努力する強さやたくましさなど、人生を前向きに生きる大山のぶ代さんの生き方に子どもたちは共感できると思う。

<授業の工夫について>

① 導入の工夫

テレビアニメ「ドラえもん」や、大山のぶ代さんが出演している番組のビデオを視聴させ、資料への関心を高める。

② 自分自身を見つめるワークシート

授業のまとめとして、大山さんの生き方から学んだことをワークシートに書き、自分のこれからの生き方についてじっくり考えさせたい。

③ 教師の説話

自分の長所を見付け、それを伸ばす努力をした体験談を話し、まとめとする。

(3) ね ら い

自分には自分らしいよさがあることに気づき、それを大切に、伸ばしていこうとする意欲を高める。

学 習 活 動	児 童 の 思 い	指 導 上 の 留 意 点
1 「ドラえもん」の声を聞いたり、大山のぶ代さんが出演しているビデオを見たりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● おもしろい声だ。</li> <li>● ドラえもんにびつたりの声だ。</li> <li>● この人が声をやってるんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドラえもんを演じている声と普段の大山さんとを結びつけて、資料への導入を図る。</li> </ul>
2 資料を読み、大山のぶ代さんの心の変容について話し合う。 (1) 中一の頃、人前で声が出せなくなったのはどうしてか。  (2) どんなことを考えて演劇の練習に励んだのか。  (3) ドラえもんの声を担当することになった大山さんは、自分のどんなところがよかったと思っているだろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なんでみんなと同じような声ではないんだろう。</li> <li>● 一人だけ、変な声で恥ずかしい。</li> <li>● わたしをじろじろ見ないで!</li> <li>● 人前ではしゃべりたくない。</li> <li>● やっぱり恥ずかしいなあ。</li> <li>● でも、このままではいけない。</li> <li>● お母さんの言葉を信じてやってみよう。</li> <li>● 演劇部に入って、自分を変えたい。</li> <li>● 弱い自分に負けたくない。</li> <li>● お母さんの忠告を信じてがんばったこと。</li> <li>● 恥ずかしくても、演劇部に入ったこと。</li> <li>● 弱点を克服するためにがんばったこと。</li> <li>● 自分の欠点とと思っていた声を自分のよさにできたこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長い資料なので事前に読ませておく。</li> <li>● 明るく元気いっぱいだった幼い頃と違い、思春期を迎えて、自分の声にひけめを感じてだんだんと自信をなくしていった「わたし」の気持ちが理解できるようにする。</li> <li>● 追いつめられた思いの「わたし」が、それを乗り越えるために葛藤する姿や、自分の特徴を生かせるかもしれないと努力を続ける「わたし」の心の変容をしっかりとらえさせる。</li> <li>● ひけめに感じていた自分の特徴を「自分にしかないよさ」に変え、それを生かす場を見いだせた喜びや達成感の大きさに共感させる。</li> <li>● 個性を見付け伸ばすには、忠告を受け入れる素直さや、たゆまぬ努力が大切であることに気付かせる。</li> </ul>
3 大山さんの生き方から学んだことをもとに自分の生活を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひけめや弱みに負けないで、前向きに行動していきたい。</li> <li>● もっと自分に自信をもって、よいところを伸ばしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今までの自分の生き方を振り返り、これからの生き方を考えて、ワークシートに書かせる。</li> </ul>
4 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の特徴について、それをよりよく生かしていく視点から話す。</li> </ul>

## (5) 評価の観点

- 自分のひけめを乗り越えるために、前向きに生きる主人公に共感できたか。
- 人と比べて劣っていると思うことも、本人の努力や前向きな生き方、周りの理解などによって、自分にあったすばらしい生き方につながっていく可能性があるということが理解できたか。
- 自分の特徴を個性として受け止め、自分のよさを見付けて、それを伸ばしていこうとする意欲が高まっているか。

